

なぜ人工衛星を打ち上げるの？
 どんな仕事をしているの？
 私たちの暮らしに役立っているってホント？
 人工衛星が地球を救うって!?

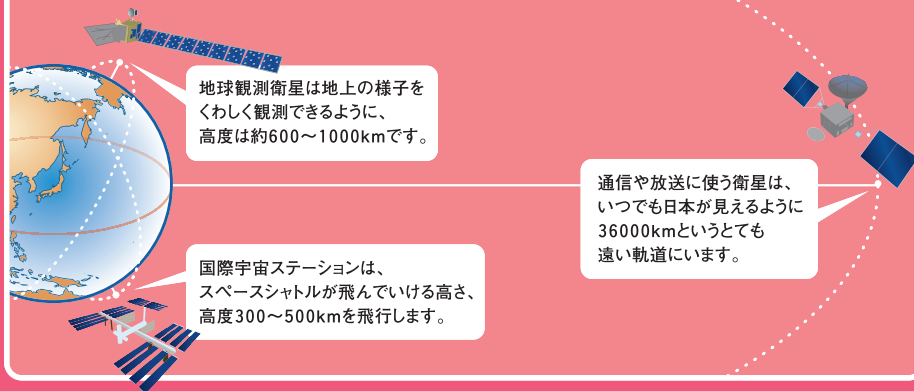
スペースシャトルのリターントゥ フライトで7人の宇宙飛行士が宇宙へ飛び立った！
 JAXAの野口宇宙飛行士も船外活動で大活躍。宇宙からの記者会見では、
 「地球の美しさって言うものは本当に、筆舌に尽くしがたいです。」だって！
 うらやましい!! でも、ケータイもつながらない宇宙空間、
 どうやって宇宙に行っている野口宇宙飛行士とお話したの？

宇宙の声を「こだま」がつなぐ

野口宇宙飛行士の活躍、ニュースなどでチェックしてもらえたかな？国際宇宙ステーション（ISS）の組み立て準備の間にも、宇宙からテレビ電話でお話したり、テレビ番組へ出演したりと大忙しでしたね。スペースシャトルからの生放送や、みんなからの応援メッセージは、地上のアン

テナとスペースシャトルのアンテナとの直接通信でした。ところで、スペースシャトルや国際宇宙ステーションも実はサテライト（人工衛星）の仲間だって知っていましたか？人がつくて地球や惑星の周りをぐるぐる回るものは、「宇宙機」と分類されているんです。

地球の周囲をまわる人工衛星や野口宇宙飛行士が乗ったスペースシャトル、国際宇宙ステーションにはそれぞれ役割に合った軌道（高さ）があります。



国際宇宙ステーションだけじゃない！こだまは宇宙の連絡係

国際宇宙ステーションやスペースシャトルは地上から400kmくらいの軌道をものでかいスピードで飛んでいるため、宇宙飛行士が地上と直接通信できるのは地上から見えている間のわずかな時間だけ。宇宙からのメッセージ、せっかくのチャンスだからもっと長く聞きたいな…。そこで、いま宇宙にいるJAXAのデータ中

継衛星「こだま（DRTS）」の出番です！「こだま」は国際宇宙ステーションだけでなく、8月に打ち上がった通信衛星「OICETS」や、まもなく打ち上がる地球観測衛星「ALOS」からもたくさんのデータを受け取ってすぐに日本へと中継してくれます。いわば、サテライトたちの連絡係という大事な役目を果たしているんです。

「こだま」を使ってできること。あなたの声を少しでも長く。

最近は宇宙旅行も夢じゃなくなってきたのかな？これからは宇宙からの中継もどんどん増えていきそうです。宇宙旅行中、あなたは地球のみんなに何を伝えますか。そのとき「こだま」は、あなたの声を少しでも長く地上に送り続けられるよう、手助けしてくれることでしょう。

